

# 10

296

2004年10月号

THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

京都ウエストワイズメンズクラブ

## BAMBOO

強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う！

### クラブ会長標語 プロジェクトW パート2

うきうき！ わくわく もっとワイズを楽しもう！

会長 立山隆一 副会長 中原一晃 書記 中村豊 山下太郎 会計 野々口佳孝

#### 標語

国際会長 “Let Your Light Shine” 「輝かせ あなたの光を」  
 アジア会長 “Love Your Neighbors as Yourself” 「自分を愛するように隣人を愛せよ」  
 西日本区理事 “皆な仲間” 働こう！ “Be Soul Mates” - To Work Hand in Hand -  
 京都部部長 「子供達に渡すべき未来」 - 今 ワイズが出来ること -

#### 強調月間 B F

あなたの神、主が与えられる土地で、どこかの町に  
 貧しい同胞が一人でもいるならば、その貧しい同胞  
 に対して心をかたくなにせず、手を閉ざすことなく、  
 手を大きく開いて、必要とするものを十分に貸し与え  
 なさい。 申命記 15章 7~8節

### 環境問題を通じて～ 継続こそ力なり

### 環境委員長 島田 博司



環境事業は今期で2期目になります。初めは環境問題なんて・・・ということが自分の心のどこかにあったように思います。何をしたいのか？そんな難しいこと自分には出来ないし考えられない。しかし環境問題にたずさわって、接しているうちにいつしか、このまま環境汚染が進むと、自分たちの子供たち、孫たち、ひ孫たちの時代には、どうなるんだろう？という考えが真剣に芽生えてきました。ここ数年で各企業は、商品の改善、リサイクルの促進で毎日のように新聞等で取り上げています。もはや避けては通れない問題であることは言うまでもありません。では普段環境対策問題に直接接していない私たち一人には何が出来るんだろう？いっばいできることがあります。少しでも車を使わない。少しでも電気や水を使わない。少しでもゴミをださない。少しでも・・・しないなんです。個人が、家族が、町内が、クラブメンバーが、京都部メンバーが、全国のメンバーが、日本国民が、地

球人が、少しでもCO2の排出を抑えれば、ものすごい量の  
 大気汚染の進行を抑えることができるのです。くしくも便利  
 なこと、快適なことの裏返しは環境汚染につながっていると思  
 います。少しだけ快適な贅沢なくらしを我慢すればいいだけ  
 なんです。大切なことは、それをたくさんの方が継続して行  
 なうということなのです。小さなことからコツコツとなんで  
 す。何か選挙の演説みたいになりましたが・・・。

我ウエストクラブでは今期、CO2TAX 運動事業を前半期に、  
 環境家計簿 TAX 運動事業を後半期に行ないます。各事業を通  
 して自分は何だけのCO2を排出しているのかということ  
 を認識し、家庭も巻き込んで、環境問題に対しての意識の向上  
 と認識を高めることを目的におこなっています。そこで徴収  
 されたTAX資金で環境のシンボル(風力発電、太陽光発電、  
 水力発電等クラブ内で検討勉強中)を建てようという計画  
 中です。そのシンボルを通して環境問題を継続して考えてい  
 こうというわけなんです。11月7日には京都部主催の環境を  
 テーマにしたイベントが行なわれます。もっともっと環境問  
 題に対しての皆さんの意識が高まればと思います。少しの節  
 約でいいんです。継続こそ力なり。

#### 9月在籍者

会 員	月 例 会	91.3%	切手	0.Pt	第一例会	ネットファンド
23名	メン 19名	(マイキャップ誌)	現金	0.Pt	0円	0円
広義・功労会員	ネット 1名				第二例会	
3名	ネット 1名				0円	
	ビジター 0名	前月出席率	累計			ファンド
合 計	ゲスト 3名	修正	切手	0.Pt	累計	年間合計
26名	計 24名	なし	現金	0.Pt	66,912円	0円